

氏名	廣渡 祐史	部署	健康開発学科	職名	准教授
研究分野	分析化学、臨床化学、動脈硬化学				
学位	工学博士				
学歴	早稲田大学 理工学部				
経歴	1986～2015: 東ソー株式会社、1992～1994: 国立がんセンター研究所(派遣)、2015～埼玉県立大学				
所属学会(役職)	日本動脈硬化学会(評議員)、日本臨床化学会(評議員、リポ蛋白専門委員会)、日本血栓止血学会				

【2015年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
2					
3					
(2) 論文					
1	Blood levels of serotonin are specifically correlated with plasma lysophosphatidylserine among the glycerol-lysophospholipids.	共著	BBA Clinical 2015 Dec, 4; 92-98.	Makoto Kurano, Tomotaka Dohi, Takahiro Nojiri, Tamaki Kobayashi, Yuji Hirowatari, Asuka Inoue, Kuniyuki Kano, Hirotaka Matsumoto, Koji Igarashi, Masako Nishikawa, Katsumi Miyauchi, Hiroyuki Daida, Hitoshi Ikeda, Junken Aoki, Yutaka Yatomi.	
2	Association of Serum Uric Acid Concentration With Metabolic Risk Factors in Patients With Type 2 Diabetes.	共著	J Clin Hypertens (Greenwich). 2015 Jun 2. doi: 10.1111/jch.12580.	Yanai H, <u>Hirowatari Y.</u>	
3	Different associations of body mass index and visceral fat area with metabolic parameters and adipokines in Japanese patients with type 2 diabetes.	共著	Diabetes Metab. 2015 Jun;41(3):261-2. doi: 10.1016/j.diabet.2015.03.008.	Yanai H, <u>Hirowatari Y.</u>	
4	A rapid anion-exchange chromatography for measurement of cholesterol levels in five lipoprotein classes and estimation of lipoprotein profiles in male volunteers without overt diseases.	共著	Ann Clin Biochem. 2015 Nov;52(Pt 6):638-46.	Manita D, <u>Hirowatari Y.</u> , Yoshida H.	
5	イオン交換クロマトグラフィーによるリポ蛋白分析システムの基礎的評価および臨床的有用性.	共著	臨床病理 63:1023-1028,2015	佐藤亮、阿部美佐子、齊藤正二、小池優、真仁田大輔、廣渡祐史、吉田博.	
6	LP-X 陽性検体における各ホモジニアス法によるLDL-C測定値の相違.	共著	臨床病理 63:312-8,2015	2. 阿部美佐子、黒澤秀夫、佐藤亮、伊藤公美恵、友野義晴、真仁田大輔、廣渡祐史、吉田博.	
(3) 学会発表					
1	高速液体クロマトグラフィーを適用したリポ蛋白中ビタミンE濃度の自動定量法の構築.	共著	第2回神奈川脂質・動脈硬化研究会学術集会(第34回神奈川脂質研究会学術集会)	廣渡祐史、真仁田大輔、吉田博、田中明.	2015/11/14(横浜)
2	アンジオテンシン II 刺激による培養血管内皮細胞のMMP2mRNA発現量の変化.	共著	第55回日本臨床化学会年次学術集会	佐藤亮、小池優、真仁田大輔、廣渡祐史、吉田博.	2015/10/31(大阪)
3	アトルバスタチン投与患者における陰イオン交換クロマトグラフィーによるリポ蛋白プロファイルの解析.	共著	第55回日本臨床化学会年次学術集会	廣渡祐史、真仁田大輔、綾織誠人、池脇克則、吉田博.	2015/10/31(大阪)

4	健康診断を受診した男性のリポ蛋白プロファイルとFramingham Risk Score、Suita Scoreの比較検討.	共著	第55回日本臨床化学会 年次学術集会	廣渡祐史、伊藤公美 恵、真仁田大輔、吉 田博、多田紀夫.	2015/10/31(大阪)
5	リポ蛋白分画(HPLC法)による家族性高 コレステロール血症患者のリポ蛋白.	共著	第55回日本臨床化学会 年次学術集会	真仁田大輔、廣渡祐 史、浅田高至、小倉 正恒、斯波真理子.	2015/10/31(大阪)
6	心血管危険因子を有する患者における血 液中セロトニン濃度と酸化ストレスの関 連.	共著	第63回 日本心臓病学 会学術集会	杉浦 知範、土肥 靖 明、山下 純世、藤井 聡、廣渡 祐史、大手 信之.	2015/9/18(横浜)
7	リポ蛋白分画(HPLC法)とCDC/CRMLNIに よる基準測定法における正確性の比較評 価.	共著	第47回日本動脈硬化学 会総会学術集会	真仁田大輔、廣渡祐 史、中村雅一、吉田 博.	2015/7/10(仙台)
8	健常者の血液中セロトニンおよび5- hydroxyindoleacetic acidとリポ蛋白プロ ファイルの関連性.	共著	第37回日本血栓止血学 会学術集会	廣渡祐史、吉田博.	2015/5/23(甲府)
<b>(4) その他</b>					
1	イオン交換クロマトグラフィーによるリポ蛋 白分析法(検査項目名:リポ蛋白分画 (HPLC法))の開発と今後の展望.	共著	Medical Science Digest 41:368-371,2015	真仁田大輔、廣渡祐 史.	
2	陰イオン交換クロマトグラフィーによるリポ 蛋白分析について.	招待講演	第33回日本臨床化学会 甲信越支部総会	廣渡祐史.	2015/6/6(松本)
3					
<b>2. 競争的資金等の研究</b>					
	競争的資金等の名称		研究名、研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	埼玉県立大学学内奨励研究		「リポ蛋白中ビタミンEの動脈硬化性疾患にお ける臨床有用性の検証」		2015/4/1~ 2016/3/31
2	東ソー株式会社との共同研究		「液体クロマトグラフィーを用いたリポ蛋白中ビ タミンE分析システムに関する共同研究」		2015/7/1~ 2016/3/31
3					
<b>3. 教育業績</b>					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
<b>(1) 講義</b>					
1	生物化学分析学(学部1年)	前期	勉学・自己学習などの生きる力について、授業に取り入れた。学力 の差があるので、難易度については低いものから高いものまで取り 入れた。		
2	生体情報評価額(修士1年分担)	前期	興味を引き起こすことを目的に動脈硬化・メタリックシロームに関する 世の中の状況・問題点について説明・議論した。		
3	検査機器総論(学部1年)	後期	授業内容について当日確認テストおよび自己採点を行い、知識の定 着を図った。		
<b>(2) 演習</b>					
1	該当なし				
2					
3					
<b>(3) 実習</b>					
1	生物化学分析学実習(学部1年)	後期	各学生の個性を尊重しながらレポートを添削し、自分らしいレポート が書けるようになることを目標に指導した。		
2					
3					
<b>(4) 論文指導</b>					
1	該当なし				
2					
3					

(5)その他			
1	該当なし		
2			
3			
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
1	「動脈硬化：血管の老化と病気」	深谷高等学校	教職員研修の講師(54名)
2			
3			
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	該当なし		
2			
3			
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
2			
3			
5. 学内運営(委員会委員)			
1	学部FD企画部会(委員)		
2			
3			
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	リポ蛋白中のビタミンE類を指標とする糖尿病の判定方法.	特許5880609	2016年3月9日
2	リポタンパク中のコレステロールおよびビタミンE類の測定方法、ならびに当該方法を利用した測定装置.	特許5866944	2016年2月24日
8. 特記事項			
	該当なし		